

変更後	変更前
<p>1. 計画の名称 (略)</p> <p>2. 地域再生計画の作成主体 (略)</p> <p>3. 地域再生計画の区域 (略)</p> <p>4. 地域再生計画の目標 ……(省略)……</p> <p>この他にも、日高川町は備長炭の生産量が日本一を占めており、原料となる「うばめがし」の供給に加え、昨今のバイオ事業への取り組みの活発化により、原料となる間伐材の供給増が急務となっている。森林組合が合併し、林業の充実を図ろうとしている折、日高川町として生まれ変わった旧町村が連携していく上でも、林道と連絡した販路の確保となる道路が必要不可欠である。「町道打尾浅間峠線」は、こうした物資の販路として必要で、経済効果を見込める道路にも係わらず、現状は交差点部分が2.5mと非常に狭隘で、大型車の通行が不可能な状況となっている。</p> <p><u>また第二県土軸の最大の難所であった国道424号美山～金屋バイパスが平成6年に完成したことにより、異常気象等による国道42号の分断に対しても迂回路が確保できることにより、和歌山県の一般道路のネットワークの骨格が極めて安定した。このようなことから、近い将来に発生が懸念されている東南海・南海地震の際に、万が一津波等で国道42号が寸断された場合にも、人・もの・情報をつなぐ”命のバイプ”となることが期待される。一方、山間部を通過する当路線は、二次災害に対する危険性が高く、災害発生時には、人・もの・情報をつなぐ”命のバイプ”が寸断される恐れがあり、早急に救援ルートを確認することが必要不可欠である。</u></p> <p><u>そこで、以前から度重なる災害発生時の代替道路にもなり、更に産業道路としての役割をも果たす「町道皆瀬打尾線」を早期改修する必要がある。しかしながら、当路線は、国道424号の代替道路であり緊急輸送路として機能を果たす役割を担っているが、幅員3.2～3.9mと大型車の通行が困難で緊急時にはその役割を発揮できないのが現状である。</u></p> <p><u>このため、緊急輸送道路のアクセス道路となりえる町道の早期整備は、本町における喫緊の課題となっている。特に大型車の通行が不可能な箇所を重点的に整備することによって、地域住民の災害や緊急時の避難路としての機能が強化され、安全で安心な生活が確保できる。</u></p> <p>以上の交流・定住プランを総合的・一体的に推進するとともに、異常気象等による風水害など災害時における緊急アクセス路を確保するため、林道・町道・県道のネットワークの強化を図り、安全で快適な通行を確保するための整備を進め、「日高川ネットワーク」構想を確立する。また、都市との交流を積極的に図り、地域社会の自主自立を目指す。</p>	<p>1. 計画の名称 (略)</p> <p>2. 地域再生計画の作成主体 (略)</p> <p>3. 地域再生計画の区域 (略)</p> <p>4. 地域再生計画の目標 ……(省略)……</p> <p>この他にも、日高川町は備長炭の生産量が日本一を占めており、原料となる「うばめがし」の供給に加え、昨今のバイオ事業への取り組みの活発化により、原料となる間伐材の供給増が急務となっている。森林組合が合併し、林業の充実を図ろうとしている折、日高川町として生まれ変わった旧町村が連携していく上でも、林道と連絡した販路の確保となる道路が必要不可欠である。「町道打尾浅間峠線」は、こうした物資の販路として必要で、経済効果を見込める道路にも係わらず、現状は交差点部分が2.5mと非常に狭隘で、大型車の通行が不可能な状況となっている。また近年、熊野古道が世界遺産に登録されて以来、アクセスとなる国道424号の交通量が増加している折、以前から度重なる災害発生時の代替道路にもなり、更に、産業道路としての役割をも果たす当路線を早期改修する必要があると考える。</p> <p><u>加えて、近い将来に発生が懸念されている東南海・南海地震の際に、万が一津波等で国道42号が寸断された場合にも、地域を孤立から守る緊急輸送道路として、高速道路は勿論のこと、本町を通過し、紀伊半島の中心部を縦断する国道424号及び東西に走る主要県道「御坊美山線」「御坊中津線」についても、人・もの・情報をつなぐ”命のバイプ”となる。しかしながら、国道424号と主要県道は山間部を通過することから、二次災害に対する危険性が高い。災害発生時には地域が孤立するため、早急に救援ルートを確認することが必要不可欠であり、緊急輸送道路のアクセス道路となりえる町道の早期整備は、本町における喫緊の課題となっている。特に大型車の通行が不可能な箇所を重点的に整備することによって、地域住民の災害や緊急時の避難路としての機能が強化され、安全で安心な生活が確保できる。</u></p> <p>以上の交流・定住プランを総合的・一体的に推進するとともに、異常気象等による風水害など災害時における緊急アクセス路を確保するため、林道・町道・県道のネットワークの強化を図り、安全で快適な通行を確保するための整備を進め、「日高川ネットワーク」構想を確立する。また、都市との交流を積極的に図り、地域社会の自主自立を目指す。</p>

変更後	変更前
<p>(目標1) 林業の振興と地域環境の改善(森林整備面積 1,740ha→2,210ha 27%の増)</p> <p>(目標2) 道路、林道整備による拠点施設へのアクセス改善 (集落から都市部へ182分・台/日短縮 30%の縮減)</p> <p>(目標3) 都市住民と農山村集落の交流促進による地域再生(観光客の入込増 22%増)</p> <p>(目標4) 災害時救助ルートの確保(確保率 4割増)</p>	<p>(目標1) 林業の振興と地域環境の改善(森林整備面積 1,740ha→2,210ha 27%の増)</p> <p>(目標2) 道路、林道整備による拠点施設へのアクセス改善 (集落から都市部へ182分・台/日短縮 30%の縮減)</p> <p>(目標3) 都市住民と農山村集落の交流促進による地域再生(観光客の入込増 22%増)</p> <p>(目標4) 災害時救助ルートの確保(確保率 2割増)</p>
<p>5. 目標を達成するために行う事業</p> <p>(5-1)全体の概要 (略)</p> <p>道整備交付金を活用する事業 (略)</p> <p>[施設の種類(事業区域)、実施主体] (略)</p> <p>[事業期間] (略)</p> <p>[整備量及び事業費]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町道 1,685m、林道 18,277m ・総事業費 2,628,523千円(うち交付金1,316,483千円) 町道 1,429,800千円(うち交付金 714,900千円) 林道 1,198,723千円(うち交付金 601,583千円) <p>(5-3)その他の事業 (略)</p>	<p>5. 目標を達成するために行う事業</p> <p>(5-1)全体の概要 (略)</p> <p>道整備交付金を活用する事業 (略)</p> <p>[施設の種類(事業区域)、実施主体] (略)</p> <p>[事業期間] (略)</p> <p>[整備量及び事業費]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町道 1,285m、林道 18,277m ・総事業費 2,314,414千円(うち交付金1,159,429千円) 町道 1,158,000千円(うち交付金579,000千円) 林道 1,156,414千円(うち交付金580,429千円) <p>(5-3)その他の事業 (略)</p>
<p>6. 計画期間 (略)</p>	<p>6. 計画期間 (略)</p>
<p>7. 目標達の達成状況に係る評価に関する事項 (略)</p>	<p>7. 目標達の達成状況に係る評価に関する事項 (略)</p>
<p>8. 地域再生計画の実施に関し当該他地方公共団体が必要と認める事項 (略)</p>	<p>8. 地域再生計画の実施に関し当該他地方公共団体が必要と認める事項 (略)</p>